

自己実現への道

第54回 ー 第2章 「積極思考」をする者は山をも動かす(その9)ー

★真のプライドとは、転んでも、必ず起き上がることである。

今、あなたは信念を持って大きな一歩を踏み出した。あなたは失敗を恐れない。

あなたは勇敢に失敗の危険に立ち向かう。

失敗を恐れる心を 永久に取り除くにはどうすればよいのか……

失敗恐怖症は爆弾のようなもので、あなたを吹き飛ばし、あなたの運命をメチャクチャにする。

この恐怖心を永久に排除するためには……まず、恐怖心とは？ その実態を科学的に解明してみよう。

「失敗を恐れる心」はどうして起こるのだろうか？

失敗を恐れるということは、実は人々から背を向けられるという心配であり、決まりが悪いという感情である。

きまりが悪いというのは、感情的に支持してくれる人々の信頼を失うことを恐れる感情であり、

人々から背を向けられるのを恐れるとは、自尊心や自負心の喪失を恐れる感情である。

人は、そんなに沢山のお金がなくても生きられるし、わずか数人の友人がいれば生きて行けるけれども、

自分に自信がなくなると、一人では生きていけなくなる。挑戦して、うまくいかなかったときに、自分が嫌になる。

それが一番怖いのだ。

この恐怖心を排除するにはどうすればよいのか？ …… それは簡単である。

何か立派なことをやろうとして失敗しても、ちっとも恥ずかしいことではないと、自分に言い聞かせることである。

素晴らしいことや、価値あることに取り組もうとする勇気のない臆病者であることほど、恥ずかしいことはない。

誠実に、敢然と取り組んで失敗したのであれば、そこには自尊の気概が残る。

しかし、大きな機会を目の前にして尻込みする卑怯な行為からは何も残らない。

だから、成否を案じて何もしないよりは、たとえ失敗してもよいから、何か立派なことに挑戦しようではないか！

人間の価値は失敗するかどうかではなく、失敗から起き上がるかどうかによって決まる (宗道臣)

★敢然とリングに上がり、第一ラウンドを戦う

失敗を意に介さず、失敗を恐れる心を克服したあなたは、第一ラウンドで得点したことになる。

あとは敢然と立ち向かえばよい。立派なことを成し遂げようと決意を固めた以上、もう完敗はあり得ない。

少なくとも、すでに臆病な心に打ち勝ったのであるから。もう、あなたは颯爽とリングに上がっているのだ。

人生の戦いの第一ラウンドとは「負けるかも知れない」とわかっていても、敢然と立ち向かうことをいう。

多くの人々を阻んでいる障害を、私は乗り越えることができる。私は惨めな負け犬には決してなりたくない。

私は失敗恐怖症に正面から対決する。リングに立った者だけが、勝利の栄光を手にすることができるのだ！

私は今、リングで戦っている – 私はもう得点をあげつつある – 私は勝利者である。

戦いに参加するものは全て勝利者である。負け犬は決してリングに上がらない。

競争に参加するものは勝ち、負け犬たちは競争を回避する。さあ、行こう！

局面がどのように展開しようとも、私には一つの光が与えられている……

胸に輝く勇気という名のバッジである。

「一度は失敗し、志を得なくとも、それにめげず、辛抱し、地道な努力を重ねていくうちに、周囲の情勢が有利に転換して、新たな道が拓けてくる」 (松下幸之助)

<MIKO>

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より